

**「宮城県美術館の
リニューアルに関する調査」
結果報告書**

1.調査概要	3
2. Summary – 調査結果の概要	4
結果概要（まとめ）		
対象者プロフィール		
3. Findings – 調査結果の詳細	7
調査結果の詳細①宮城県美術館への来館状況		
調査結果の詳細②美術/芸術への関心		
調査結果の詳細③宮城県美術館について		

調査概要

調査目的	◆ 宮城県美術館への来館者およびイベント来訪者、また宮城県内の美術教育関係者や宮城県内在住者に対して、宮城県美術館の来館状況や、リニューアルについての意見を聴取することで、リニューアルに向けた基礎資料とする
調査手法	①質問紙による聞き取り調査 ②会場での質問紙の配布、回収調査 ③宮城県HP内でのアンケート調査
調査地点	①宮城県美術館 ②造形教育研究大会石巻大会、まちなか美術講座 ③宮城県HP内
対象者条件	①宮城県美術館で作品鑑賞を終えたお客様 ②造形教育研究大会石巻大会の参加者 まちなか美術講座の参加者 ③宮城県HPの閲覧者
サンプル数	◆ 668サンプル <内訳> ①541サンプル ②117サンプル ③10サンプル
実査期間	①10/28(土)、29(日)、11/4(土)、5(日)、11(土)、12(日)、18(土)、19(日)、12/2(土) のべ9日間 ②11/17(土)、12/2(土) のべ2日間 ③11/6(月)～12/5(火)
聞き取り調査 実施機関	◆ 株式会社 サーベイリサーチセンター

Summary – 調査結果の概要

結果概要(まとめ)

<対象者プロフィール概要> P6 参照

- ・回答者割合は、男性が44.8%、女性が53.6%だった
- ・回答者の職業で最も多かったのは、「会社員」33.4%、次いで「公務員」16.5%、「学生」14.1%となっている
- ・回答者の59.0%は「仙台市内」に居住と回答しており、「宮城県内(仙台市内除く)」は22.2%となっている。回答者全体の約8割が宮城県内に居住していた
- ・宮城県美術館までの主な交通手段で最も多かったのは、「自家用車」となっており、全体の約4割を占めている。次いで、「地下鉄」が24.6%となっていた。「その他」では、JRと回答している人が多く見られ、鉄道も主要な交通手段であることが分かった

<調査結果概要>

【宮城県美術館への来館状況】

- ・宮城県美術館への来館頻度は、「1年に2~5回」という割合が全体の4割弱を占める(P.8)
- ・宮城県美術館への来館目的について、「特別展示の鑑賞」という回答が6割を占めており、特別展への関心度が高いと言える(P.9)

【美術への興味関心】

- ・年間の美術館への訪問回数は、「1回」、「2~3回」という回答が約半数を占めており、10代については、ほぼ半数が「年間1回」と回答していることから、若い世代の美術館訪問頻度が低いことが分かる(P.11)

【宮城県美術館について】

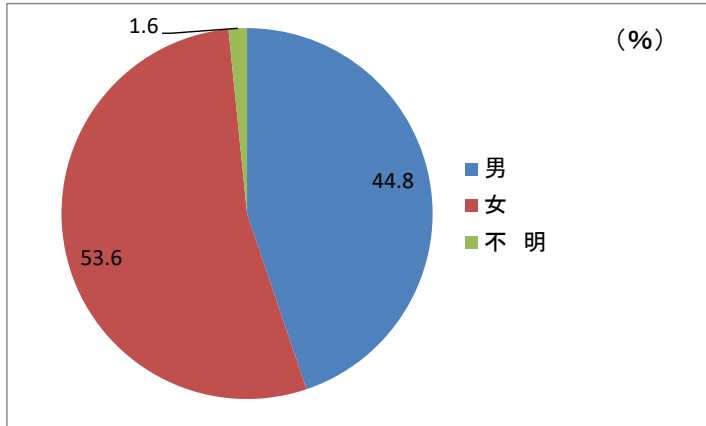
- ・魅力的だと感じる展覧会は、年代によって嗜好が異なり、若い世代には「幅広いジャンル」が好まれるのに対して、年代が上がるほど「日本の美術」を好む傾向が見られた(P.17)
- ・現状の宮城県美術館に対して、70%以上が「満足している」(非常に満足+やや満足合計)と回答している一方で、「不満」(非常に不満+やや不満合計)という回答も5%ほどあり、満足度を向上する取り組みと合わせて、不満を減らすための取り組みも今後の課題であるといえる(P.13)

【宮城県美術館リニューアルについて】

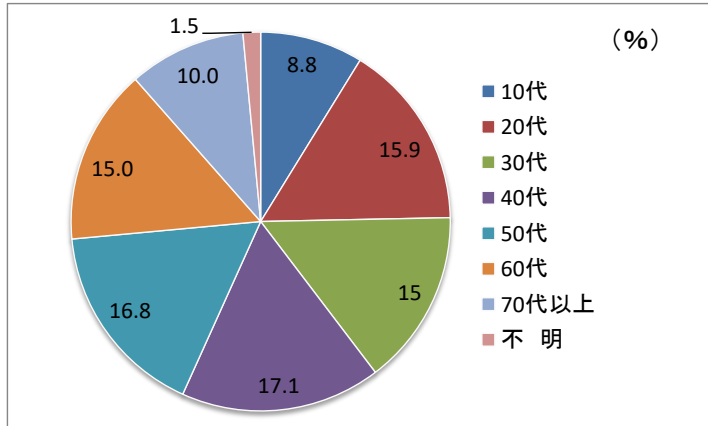
- ・リニューアルについての認知度はわずか2割程度だった。特に10代~30代の若い世代の認知度が低く、調査を通して知ったという人も多くいた(P.19)
- ・リニューアルに向けて、展示室では鑑賞時の「居心地の良さ」を重視、またラウンジについては、「飲食」や「情報検索」ということが求められていた(P.20,26)
- ・キッズ・プロジェクト案については、「素材体験プログラム」「子供も楽しめる展覧会」「造形プログラム」など、芸術を見て楽しむ、という以上に子供が主体となって取り組めるようなプロジェクトが期待されていることが分かった(P.22)
- ・「また来たい」と思える美術館については、「特別展示の充実」と回答している人が最も多かった。実際に宮城県美術館の来館目的も「特別展示の鑑賞」と回答している人が多いことから、特別展の充実が、今後の来館や再来館のきっかけになると考えられる(P.29)

対象者プロフィール

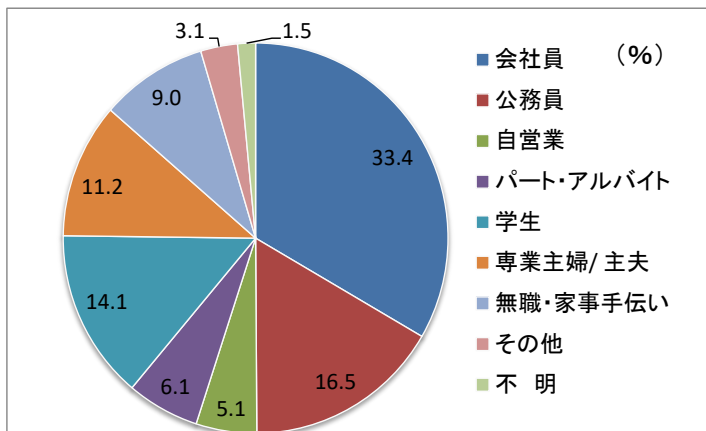
性別 n=668



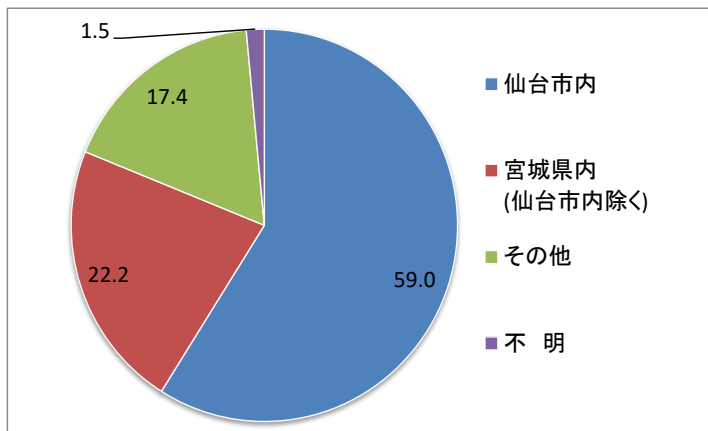
年代 n=668



職業 n=668

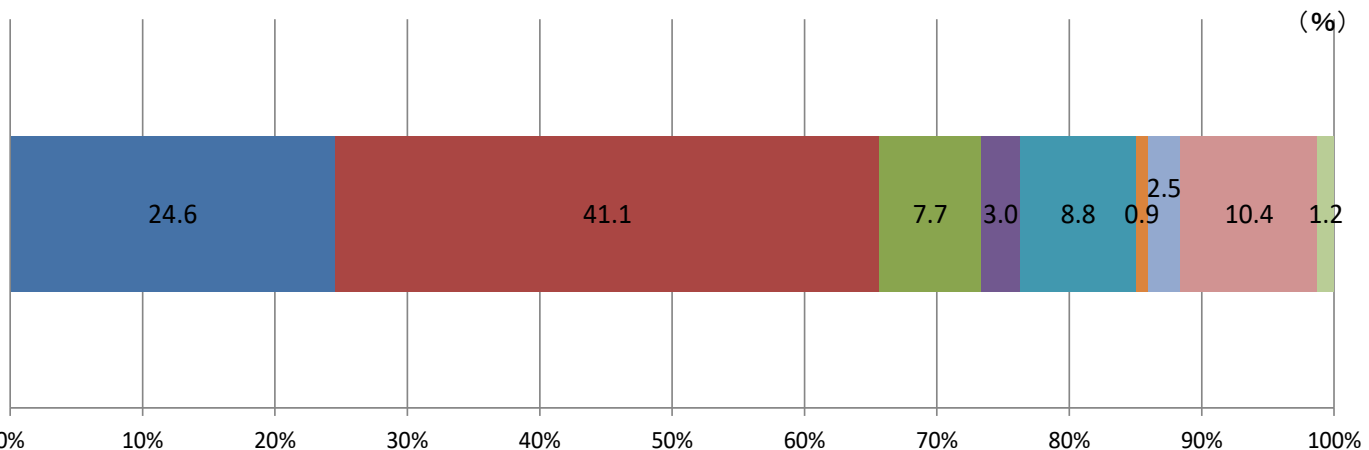


お住まいの地域 n=668



交通手段 n=668

- 地下鉄
- 自家用車
- 路線バス
- 高速バス・ツアーバス
- 徒歩
- タクシー
- 自転車
- その他
- 不明



Findings – 調査結果の詳細

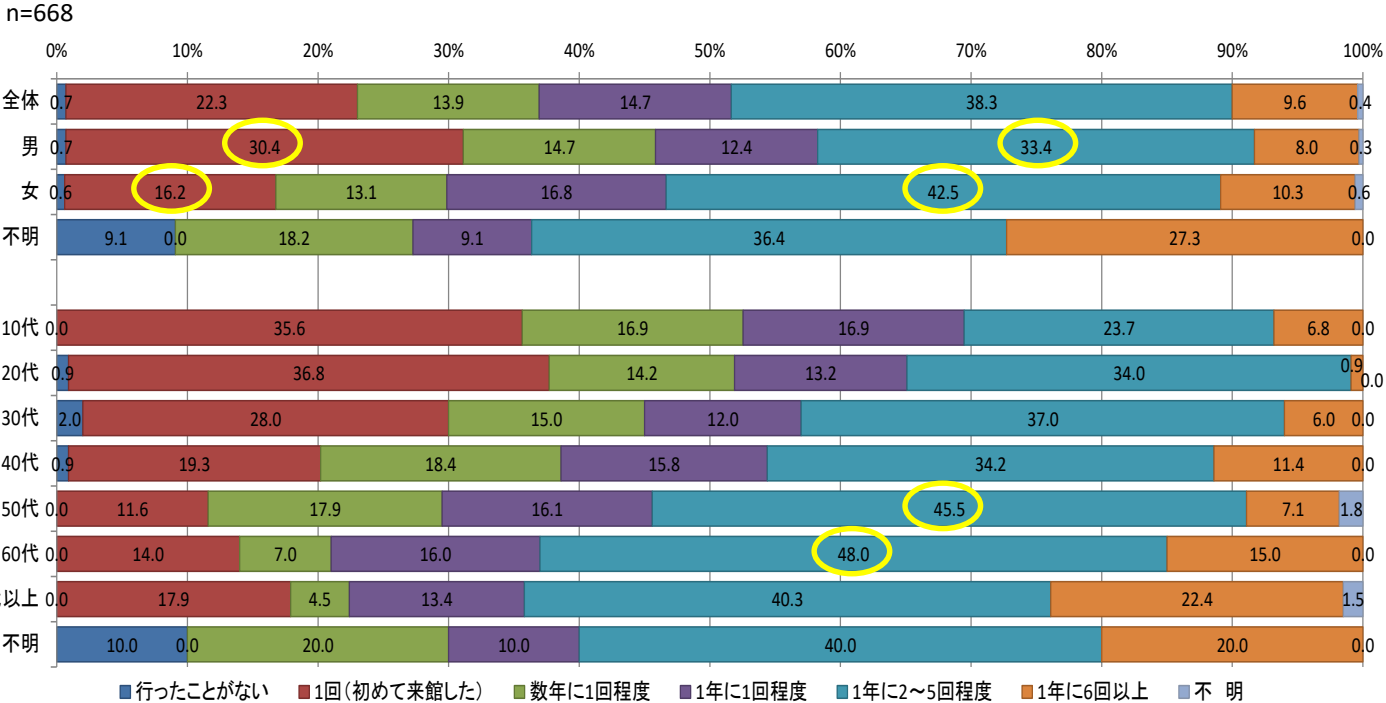
①宮城県美術館への来館状況

宮城県美術館への来館頻度

◆1年に2～5回程度の来館者が約4割を占める

・男女別にみると、「1年に2～5回程度」という回答は、女性は42.5%、男性は33.4%となっており、反対に「初めて来館した」という回答は、女性が16.2%に対して、男性は30.4%と2倍近く回答差があることから、女性の方が宮城県美術館への来館頻度は高いことが窺える。

・年代別に見ると、「初めて来館した」という回答は、10代、20代では約35%以上を占めている。反対に「1年に2～5回程度」という回答は、50代で45.5%、60代では48.0%と約半数を占めていることから、若い世代の宮城県美術館の来館頻度は高くないことが分かった。



	行ったことがない	1回(初めて来館した)	数年に1回程度	1年に1回程度	1年に2～5回程度	1年に6回以上	不明
全体	0.7	22.3	13.9	14.7	38.3	9.6	0.4
男	0.7	30.4	14.7	12.4	33.4	8.0	0.3
女	0.6	16.2	13.1	16.8	42.5	10.3	0.6
不明	9.1	-	18.2	9.1	36.4	27.3	-
10代	-	35.6	16.9	16.9	23.7	6.8	-
20代	0.9	36.8	14.2	13.2	34.0	0.9	-
30代	2.0	28.0	15.0	12.0	37.0	6.0	-
40代	0.9	19.3	18.4	15.8	34.2	11.4	-
50代	-	11.6	17.9	16.1	45.5	7.1	1.8
60代	-	14.0	7.0	16.0	48.0	15.0	-
70代以上	-	17.9	4.5	13.4	40.3	22.4	1.5
不明	10.0	-	20.0	10.0	40.0	20.0	-

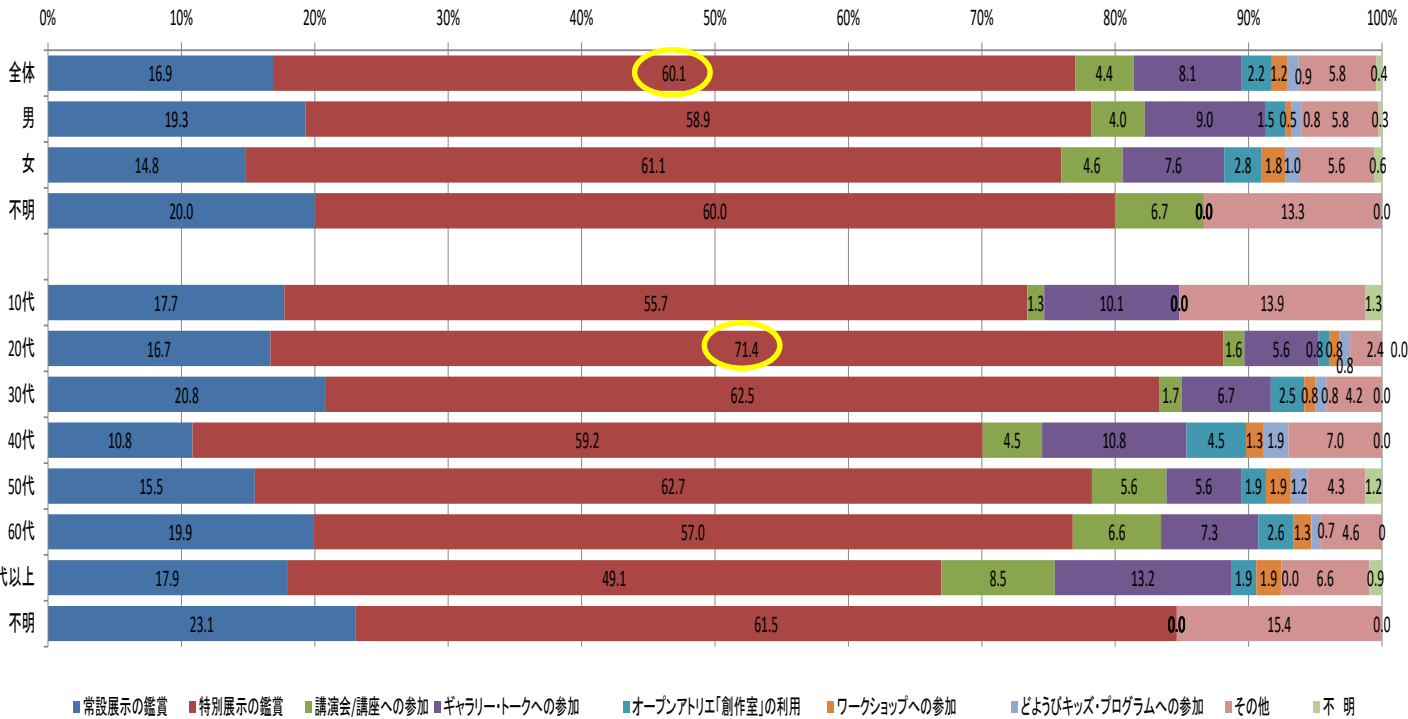
宮城県美術館への来館目的

◆来館者の約6割の目的が「特別展示の鑑賞」

・全体の約6割が来館目的を「特別展示の鑑賞」と回答しており、特別展示への関心が高いことが窺える。

・性別では大きな差は見られなかったが、年代別に見ると、20代の「特別展示の鑑賞」と回答している割合が約7割となっており、特に、特別展示への興味を持って宮城県美術館を訪れていることが分かる。

n=663



	常設展示の鑑賞	特別展示の鑑賞	講演会/講座への参加	ギャラリー・トークへの参加	オープンアトリエ「創作室」の利用	ワークショップへの参加	どよびキッズ・プログラムへの参加	その他	不明
全体	16.9	60.1	4.4	8.1	2.2	1.2	0.9	5.8	0.4
男	19.3	58.9	4.0	9.0	1.5	0.5	0.8	5.8	0.3
女	14.8	61.1	4.6	7.6	2.8	1.8	1.0	5.6	0.6
不明	20.0	60.0	6.7	-	-	-	-	13.3	-
10代	17.7	55.7	1.3	10.1	-	-	-	13.9	1.3
20代	16.7	71.4	1.6	5.6	0.8	0.8	0.8	2.4	-
30代	20.8	62.5	1.7	6.7	2.5	0.8	0.8	4.2	-
40代	10.8	59.2	4.5	10.8	4.5	1.3	1.9	7.0	-
50代	17.0	62.7	5.6	5.6	1.9	1.9	1.2	4.3	1.2
60代	19.9	57.0	6.6	7.3	2.6	1.3	0.7	4.6	-
70代以上	17.9	49.1	8.5	13.2	1.9	1.9	-	6.6	0.9
不明	23.1	61.5	-	-	-	-	-	15.4	-

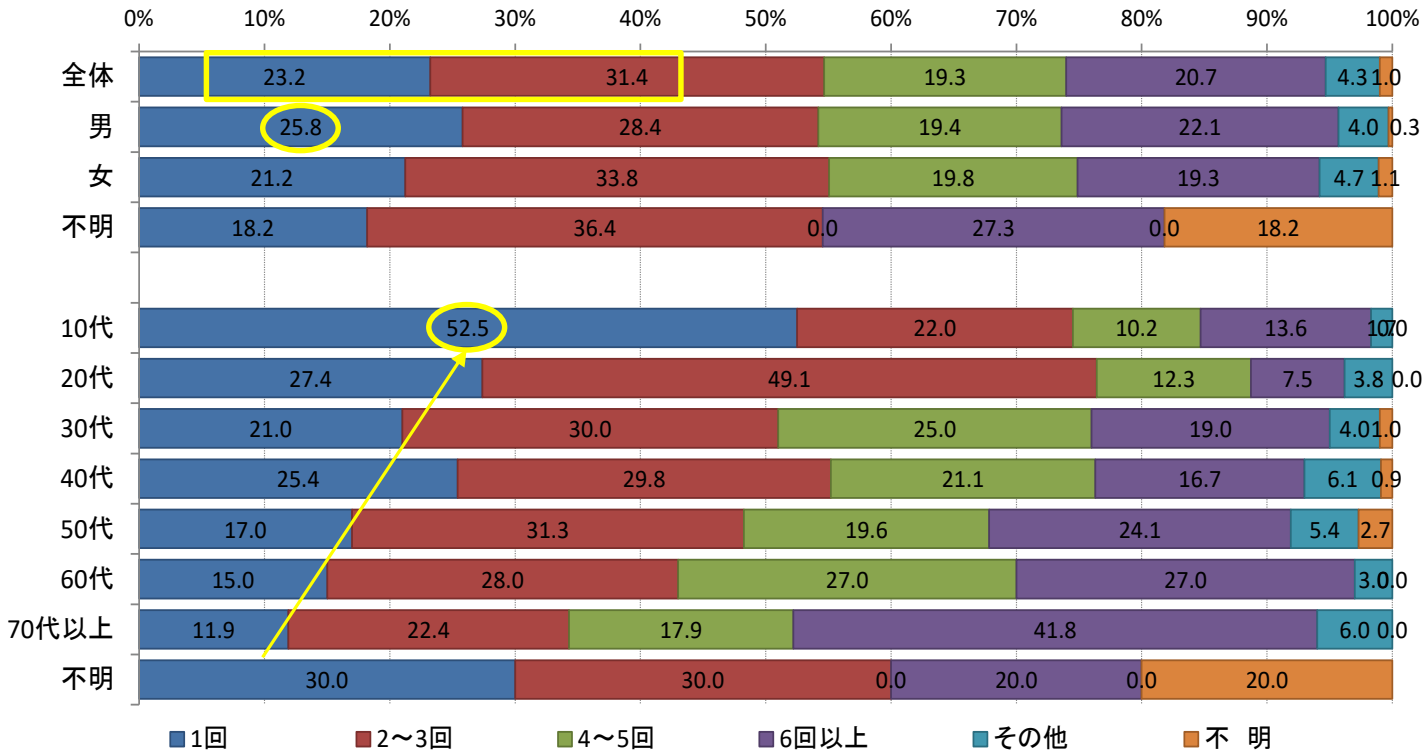
***Findings* – 調査結果の詳細**
②美術/芸術への関心

美術館への年間訪問回数

◆美術館への年間訪問回数は、「1回」「2～3回」が約半数を占める

- ・性別での大きな差は見られなかったが、年間の美術館訪問回数が「1回」と回答している男性は25.8%となっており、男性全体の4分の1を占めている。
- ・年代別に見ると、年間訪問回数が「1回」と回答している10代は52.5%となっており、約半数を占める。反対に年代が上がるほど、「1回」と回答している人は、減少傾向にある。

n=668



	1回	2 3 回	4 5 回	6 回 以上	その他	不明
全体	23.2	31.4	19.3	20.7	4.3	1.0
男	25.8	28.4	19.4	22.1	4.0	0.3
女	21.2	33.8	19.8	19.3	4.7	1.1
不明	18.2	36.4	-	27.3	-	18.2
10代	52.5	22.0	10.2	13.6	1.7	-
20代	27.4	49.1	12.3	7.5	3.8	-
30代	21.0	30.0	25.0	19.0	4.0	1.0
40代	25.4	29.8	21.1	16.7	6.1	0.9
50代	17.0	31.3	19.6	24.1	5.4	2.7
60代	15.0	28.0	27.0	27.0	3.0	-
70代以上	11.9	22.4	17.9	41.8	6.0	-
不明	30.0	30.0	-	20.0	-	20.0

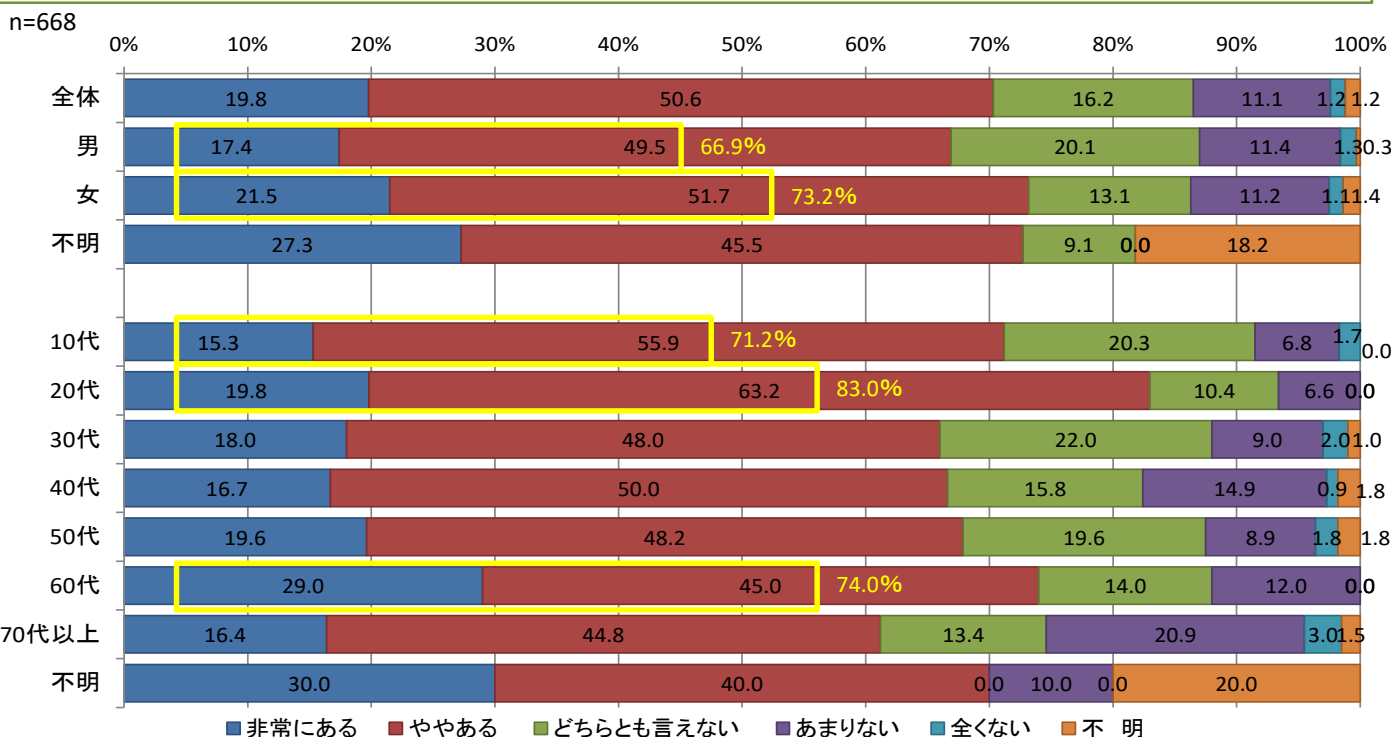
現代アートへの興味・関心度

◆回答者の約7割が現代アートへの興味や関心を持っている

(※「非常にある」+「ややある」合計)

・性別で見ると、現代アートへの興味について「非常にある」「ややある」という回答は、女性が73.2%、男性が66.9%と、女性の方が6.3ポイント高く、より興味関心を持っていることが窺える。

・年代別で見ると、特に20代の興味関心度が高く、次いで、60代の74.0%、10代の71.2%という結果になっていた。



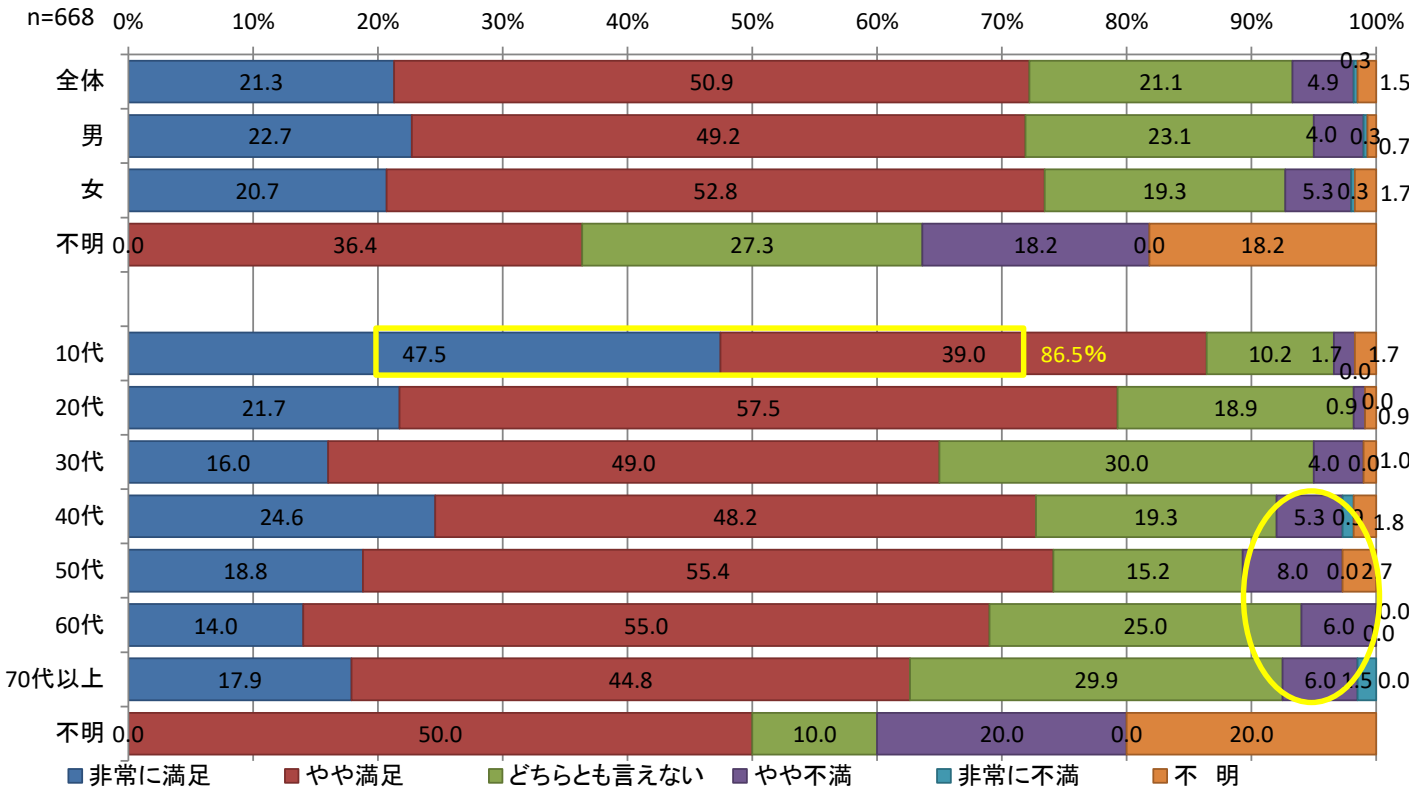
	非常にある	ややある	どちらとも言えない	あまりない	全くない	不明
全体	19.8	50.6	16.2	11.1	1.2	1.2
男	17.4	49.5	20.1	11.4	1.3	0.3
女	21.5	51.7	13.1	11.2	1.1	1.4
不明	27.3	45.5	9.1	-	-	18.2
10代	15.3	55.9	20.3	6.8	1.7	-
20代	19.8	63.2	10.4	6.6	-	-
30代	18.0	48.0	22.0	9.0	2.0	1.0
40代	16.7	50.0	15.8	14.9	0.9	1.8
50代	19.6	48.2	19.6	8.9	1.8	1.8
60代	29.0	45.0	14.0	12.0	-	-
70代以上	16.4	44.8	13.4	20.9	3.0	1.5
不明	30.0	40.0	-	10.0	-	20.0

宮城県美術館への満足度

◆宮城県美術館への満足している人は、全体で72.2%を占める

(※「非常に満足」+「やや満足」合計)

- ・美術館への満足度は、性別では大きな差は見られなかった。
- ・年代別に見ると、10代で満足したと回答している人は、86.5%と、各年代の中で最も高い満足度となっている。
- ・反対に40代～70代以上は、「やや不満」「不満」と回答している人が、5%以上おり、全体からみると低い数値ながらも、不満を減らしていくことが今後必要である。



	非常に満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	非常に不満	不明
全体	21.3	50.9	21.1	4.9	0.3	1.5
男	22.7	49.2	23.1	4.0	0.3	0.7
女	20.7	52.8	19.3	5.3	0.3	1.7
不明	-	36.4	27.3	18.2	-	18.2
10代	47.5	39.0	10.2	1.7	-	1.7
20代	21.7	57.5	18.9	0.9	-	0.9
30代	16.0	49.0	30.0	4.0	-	1.0
40代	24.6	48.2	19.3	5.3	0.9	1.8
50代	18.8	55.4	15.2	8.0	-	2.7
60代	14.0	55.0	25.0	6.0	-	-
70代以上	17.9	44.8	29.9	6.0	1.5	-
不明	-	50.0	10.0	20.0	-	20.0

美術館への満足度理由(自由回答抜粋)

満足理由

【施設について】

- ・景色と建物がマッチして良い
- ・建物の中庭、カフェに満足している
- ・館内がきれい、全て見やすい
- ・カフェが気に入った。近代的な建物でオシャレ
- ・落ち着いた照明が良い／・暖色系の照明が全体的に木のぬくもりを感じる
- ・入館してすぐロビーが広く、売店などがあり間取りが良い
- ・階段数が多いと思ったが、そのアプローチがなかなか魅力ある／・動線がまわりやすい

【創作室について】

- ・創作室があり、使えるところ
- ・創作室があるのが珍しい。活動の場が無料だから
- ・創作室の設備が良い

【料金について】

- ・常設展は無料展示なので良い
- ・常設展は入場料が安いのに作品を多く見ることができた
- ・特別展は1300円払う価値がある

【雰囲気について】

- ・庭が好き。緑の色が良い／・全体の雰囲気が良い。庭も散歩できる／・庭が綺麗で、カフェでゆっくりできる
- ・落ち着く。裏庭やモニュメントが好き／・アリスの庭が全体的に空間が豊かで良い
- ・場所と雰囲気が良い。ほどほど空いている
- ・開放的で雰囲気が良い
- ・雰囲気が良い。中央のデザインの展示も良かった／・雰囲気が良い。入りやすさが良い
- ・静かなところ。実際に触れる作品があるのが良い
- ・落ち着いてゆっくりできる。作品の横のトビックスがおもしろい
- ・日曜日なのに人が少なくて見やすい
- ・入館すると贅沢な空間が気に入った
- ・建物の空間の使い方が贅沢
- ・内装が綺麗で落ち着いている

不満理由

【施設について】

- ・館内全体の構造がわかりにくく、佐藤忠良記念館や庭園の存在に気付くの何年かかかった
- ・図書室もギャラリーも創作室も、わかりにくい
- ・広さは十分にある施設だが、その広さを生かし切れていない
- ・建物の老朽化、展示場の壁が傷ついていて、貧相
- ・物販が狭くてゆっくり見れない／・売店が狭い
- ・展示スペースが小さく狭い
- ・展示室が狭い／・構造が小さい
- ・自然が多いのに、活用していない造りの様に感じる
- ・展示場の壁紙、照明が古く、作品が美しく鑑賞できない／・照明が暗い

【展示について】

- ・東山魁夷展の際に、照明との相性のせいか、ガラスに自分や他人の姿が映り込み非常に絵が見つらなかった
- ・常設展に目立つ展示がない。特別展には注目度の高いものがほしい
- ・ここに行けば見れるというものがない
- ・見たい特別展が来ない
- ・特別展はいつも同じ感じがする。新鮮さがない
- ・現代美術が少ない
- ・特別展の数が少ない

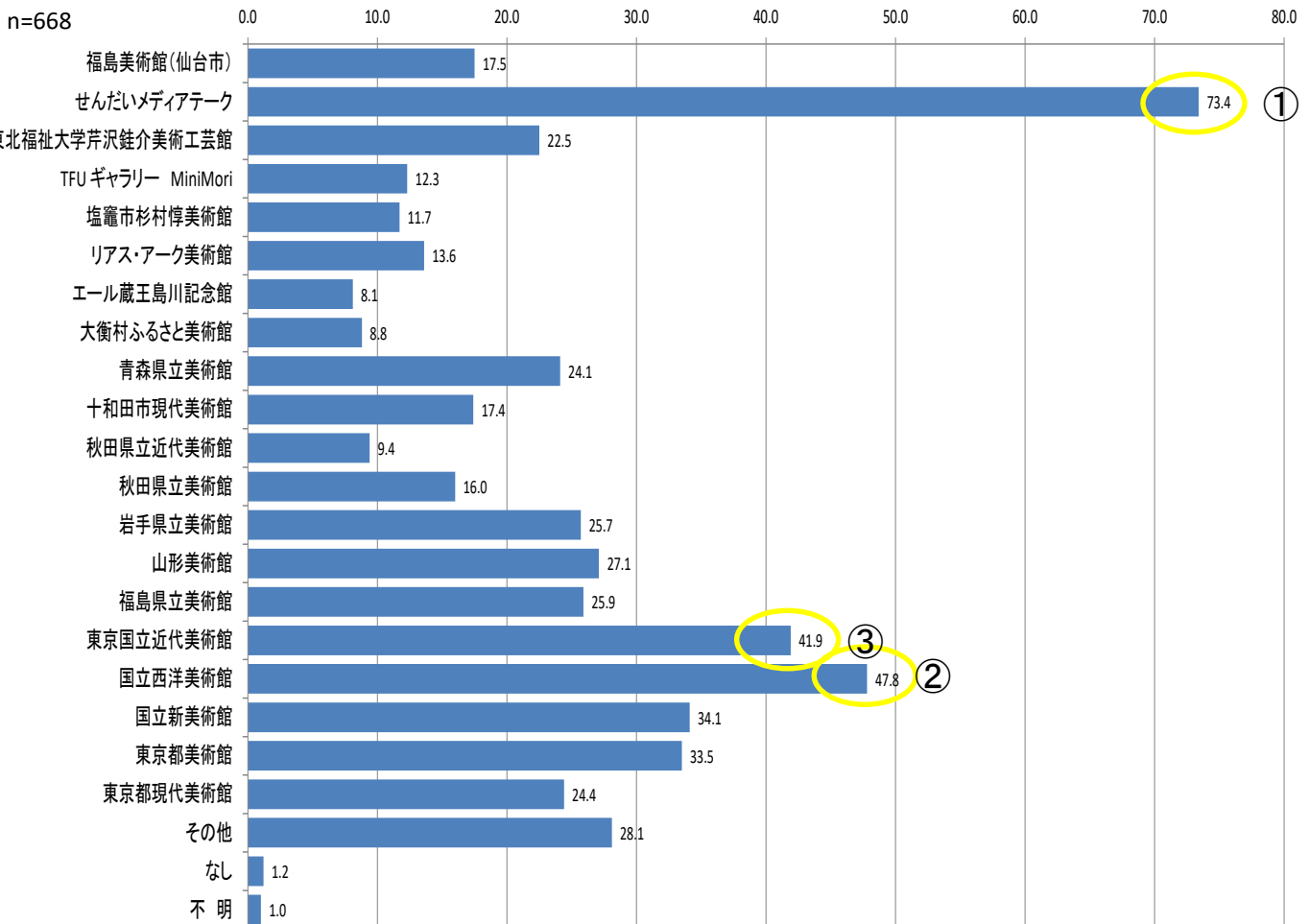
【その他】

- ・開館時間が短い
- ・講演会の中止の連絡が行き届いていない
- ・チラシが分かりにくい
- ・以前ピカソ展の時、監視員の人にうるさく口を出された
- ・駐車場が狭い
- ・駐車場が入りづらい
- ・駐車場から館内への入り方がわからない

来館経験のある美術館／最も好きな美術館(自由回答)

これまで行ったことのある美術館の中で最も多かった回答は、①「せんだいメディアテーク」で、回答者の7割以上が来訪経験があることが分かった。次いで、東京にある②「国立西洋美術館」(47.8%)、「東京国立近代美術館」(41.9%)という結果であった。

(%)



※実数ベースで算出

最も好きな美術館 TOP20

【回答数が多かった順▼】

- | | |
|---------------|-----------------------|
| ① 宮城県美術館 | ⑪ 東京国立近代美術館(同数) |
| ② 国立西洋美術館 | ⑪ 諸橋近代美術館(同数) |
| ③ せんだいメディアテーク | ⑬ 東京都現代美術館 |
| ④ 国立新美術館 | ⑭ 福島美術館(仙台市) |
| ⑤ 十和田市現代美術館 | ⑮ エール蔵王 島川記念館 |
| ⑥ 福島県立美術館 | ⑯ 金沢21世紀美術館 |
| ⑦ 岩手県立美術館(同数) | ⑰ ルーブル美術館(同数) |
| ⑦ 青森県立美術館(同数) | ⑰ 足立美術館(同数) |
| ⑨ 東京都美術館 | ⑲ 秋田県立美術館(同数) |
| ⑩ 山形美術館 | ⑲ 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館(同数) |

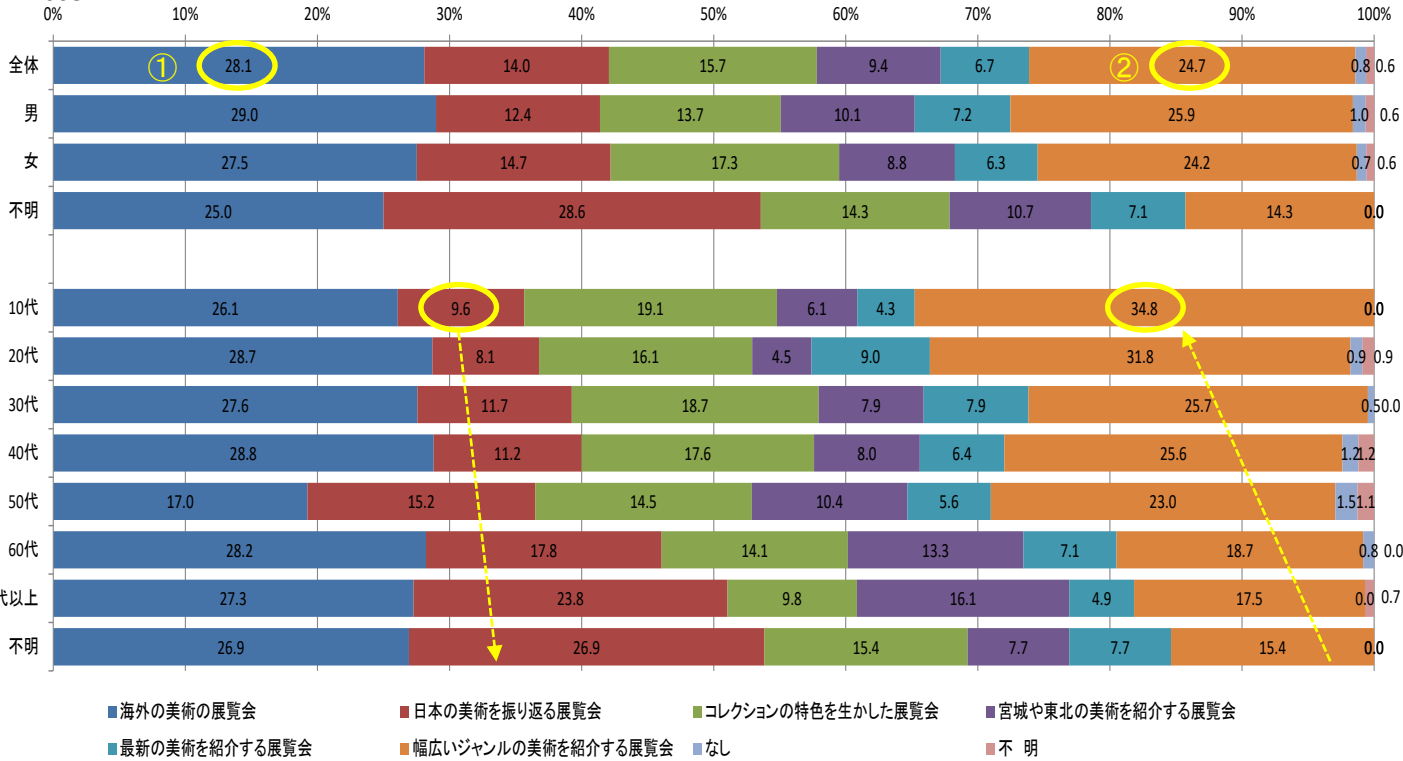
***Findings* – 調査結果の詳細**
③宮城県美術館について

魅力的だと感じた展覧会

◆ 魅力を感じる展覧会は年代によって異なる

- ・最も魅力的だと感じた展覧会は、①「海外の美術の展覧会」の28.1%であった。次いで②「幅広いジャンルの美術を総会する展覧会」が24.7%となっている。
- ・年代別に見てみると、「幅広いジャンルの美術を紹介する展覧会」は、10代が最も高い34.8%、70代以上が最も低い17.5%となっており、年代が上がる程、減少傾向にあることから若い世代に人気があることが窺える。
- ・反対に「日本の美術を振り返る展覧会」は、比較的に年代が高いほど評価が増加傾向にあり、10代、20代は10%以下であった。

n=668



	海外の美術の展覧会	日本の美術を振り返る展覧会	コレクションの特色を生かした展覧会	宮城や東北の美術を紹介する展覧会	最新の美術を紹介する展覧会	幅広いジャンルの美術を紹介する展覧会	なし	不明
全体	28.1	14.0	15.7	9.4	6.7	24.7	0.8	0.6
男	29.0	12.4	13.7	10.1	7.2	25.9	1.0	0.6
女	27.5	14.7	17.3	8.8	6.3	24.2	0.7	0.6
不明	25.0	28.6	14.3	10.7	7.1	14.3	-	-
10代	26.1	9.6	19.1	6.1	4.3	34.8	-	-
20代	28.7	8.1	16.1	4.5	9.0	31.8	0.9	0.9
30代	27.6	11.7	18.7	7.9	7.9	25.7	0.5	-
40代	28.8	11.2	17.6	8.0	6.4	25.6	1.2	1.2
50代	28.6	15.2	14.5	10.4	5.6	23.0	1.5	1.1
60代	28.6	17.8	14.1	13.3	7.1	18.7	0.8	-
70代以上	27.3	23.8	9.8	16.1	4.9	17.5	-	0.7
不明	26.9	26.9	15.4	7.7	7.7	15.4	-	-

ポジティブイメージ

【施設について】

- ・ライトが柔らかくて良い
- ・素朴なイメージ。良い意味で宮城県美術館の取り柄は画家の絵で落ち着くこと
- ・きれいで良い
- ・景色とかカフェなどオシャレなイメージ
- ・宮城県を代表している美術館
- ・立派な建物
- ・ユニークさを感じる。施設が充実している
- ・開放的なイメージ。堂々とした建物
- ・建物も含めて、広くて大きくて東北で一番立派なイメージ
- ・建物がアートの的で楽しめる

【雰囲気について】

- ・他の美術館に比べてウェルカムな感じで、敷居が高くない
- ・きれいで気持ちが良い。静かで落ち着く
- ・静かに観覧ができ、部屋ごとに雰囲気が変わる
- ・静かで落ち着いた温かみのあるイメージ
- ・自由な雰囲気で良い
- ・緑がきれい。雰囲気が良い
- ・エレガント。仙台らしく、フランス的な感じがする
- ・リフレッシュ、重厚感。普段と違う展示があるので、現実から離れられる
- ・伝統的な雰囲気がある
- ・静かで上品なイメージ
- ・建物も含めて、広くて大きくて東北で一番立派なイメージ
- ・地域に密着している
- ・若い人から年配まで楽しめるイメージ

【接客について】

- ・職員が明るくて親切

ネガティブイメージ

【雰囲気／施設について】

- ・閉鎖的で暗い
- ・古めかしい
- ・寂しい場所
- ・設備が古い(トイレ)
- ・慣れない人には入りにくい
- ・敷居が高い
- ・入りづらい
- ・室内の照明が暗い。ロビーも暗い
- ・暗いイメージ。エントランスが狭い
- ・建物は重厚な感じだけど、トイレが少ない。壁に穴があいている

【接客について】

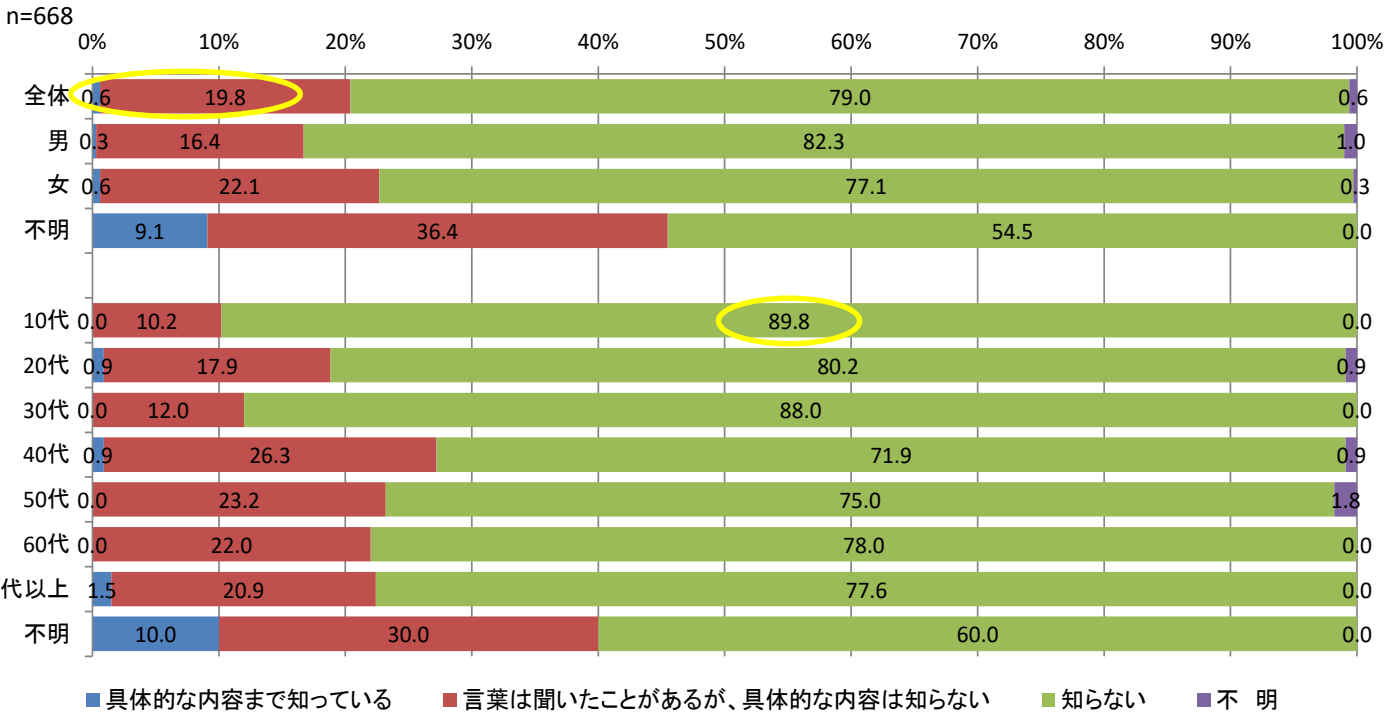
- ・子供連れにとっても厳しいイメージ。子供に見せたかったのに係員がピリピリしていて残念だった

宮城県美術館リニューアルに関する認知度

◆宮城県美術館リニューアルについての認知度は、全体で2割と低い結果

・「具体的な内容まで知っている」と回答した人は、全体では0.6%と非常に低い結果となっており、具体的な内容までは把握していないものの、「宮城県美術館のリニューアル」という言葉を聞いたことがある人を含めても、全体の約2割程度であった。

・リニューアルについて、「知らない」という回答は約8割を占めているが、その中でも特に10代は89.8%という結果になっており、リニューアルについて全く知らないという現状が分かった。



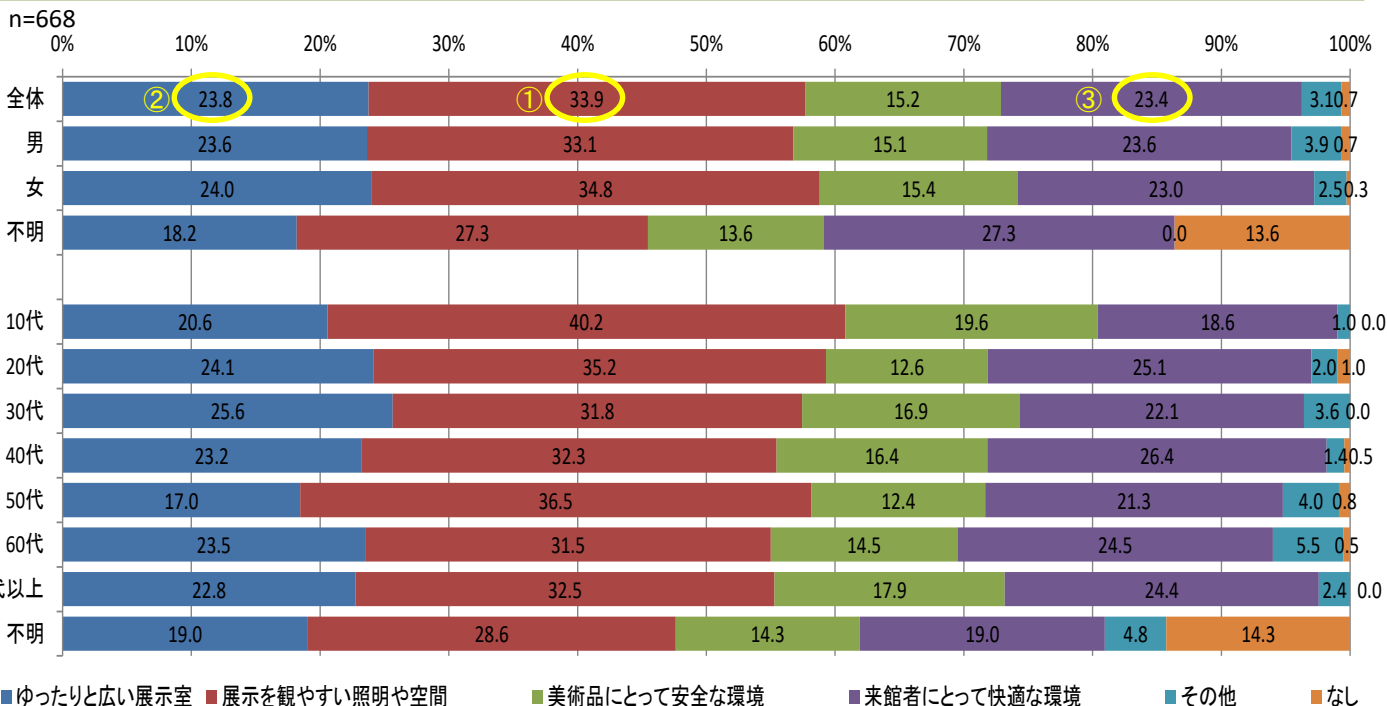
	具体的な内容まで知っている	言葉は聞いたことがあるが、具体的な内容は知らない	知らない	不明
全体	0.6	19.8	79.0	0.6
男	0.3	16.4	82.3	1.0
女	0.6	22.1	77.1	0.3
不明	9.1	36.4	54.5	-
10代	-	10.2	89.8	-
20代	0.9	17.9	80.2	0.9
30代	-	12.0	88.0	-
40代	0.9	26.3	71.9	0.9
50代	-	23.2	75.0	1.8
60代	-	22.0	78.0	-
70代以上	1.5	20.9	77.6	-
不明	10.0	30.0	60.0	-

展示室のリニューアルについて大切だと感じる点

◆リニューアル後の展示室は、鑑賞時の「居心地の良さ」を重視

・リニューアルの際に最も大切なこととして、①「展示をみやすい照明や空間」（33.9%）、次いで②「ゆったりとした広い展示室」（23.8%）、③「来館者にとって快適な環境」（23.4%）という結果になった。

この結果から、年代、性別に関わらず、いかに来館した際に「気持ちよく、居心地のよい環境で美術品を鑑賞できるか」ということを重視していることが分かる。



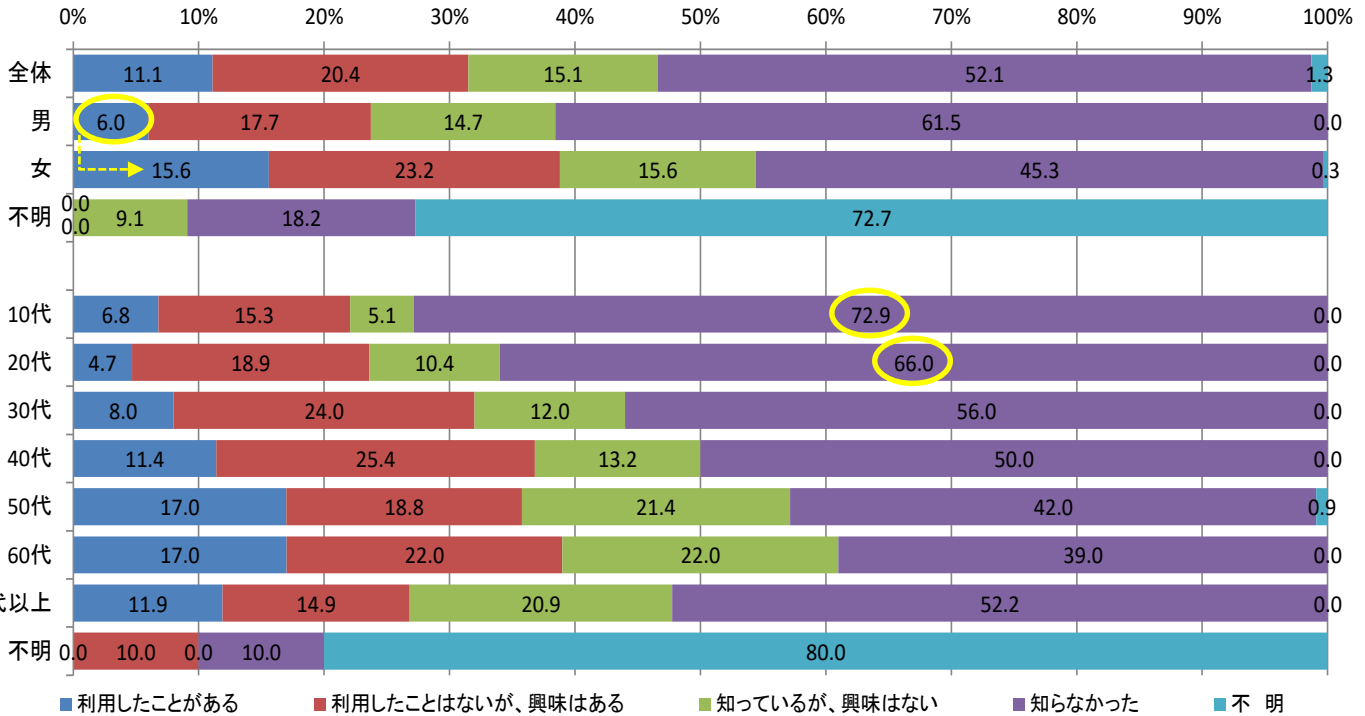
	ゆとり とした 広い 展 示 室	展 示 を 観 や す い 照 明 や 空 間	美 術 品 に と つ て 安 全 な 環 境	来 館 者 に と つ て 快 適 な 環 境	そ の 他	な し
全体	23.8	33.9	15.2	23.4	3.1	0.7
男	23.6	33.1	15.1	23.6	3.9	0.7
女	24.0	34.8	15.4	23.0	2.5	0.3
不明	18.2	27.3	13.6	27.3	-	13.6
10代	20.6	40.2	19.6	18.6	1.0	-
20代	24.1	35.2	12.6	25.1	2.0	1.0
30代	25.6	31.8	16.9	22.1	3.6	-
40代	23.2	32.3	16.4	26.4	1.4	0.5
50代	24.9	36.5	12.4	21.3	4.0	0.8
60代	23.5	31.5	14.5	24.5	5.5	0.5
70代以上	22.8	32.5	17.9	24.4	2.4	-
不明	19.0	28.6	14.3	19.0	4.8	14.3

創作室の利用経験について

◆創作室の認知度は、約5割。実際の利用者は1割程度

- ・性別で見ると、「利用したことがある」と回答している人は、男性が6.0%、女性が15.6%と2倍以上の差がひらいており、女性の利用者の方が多いことが分かった。
- ・年代別にみると、「知らなかった」と回答している人は、10代が72.9%、20代が66.0%となっており、特に若い世代の認知度が低いことが分かる。

n=668



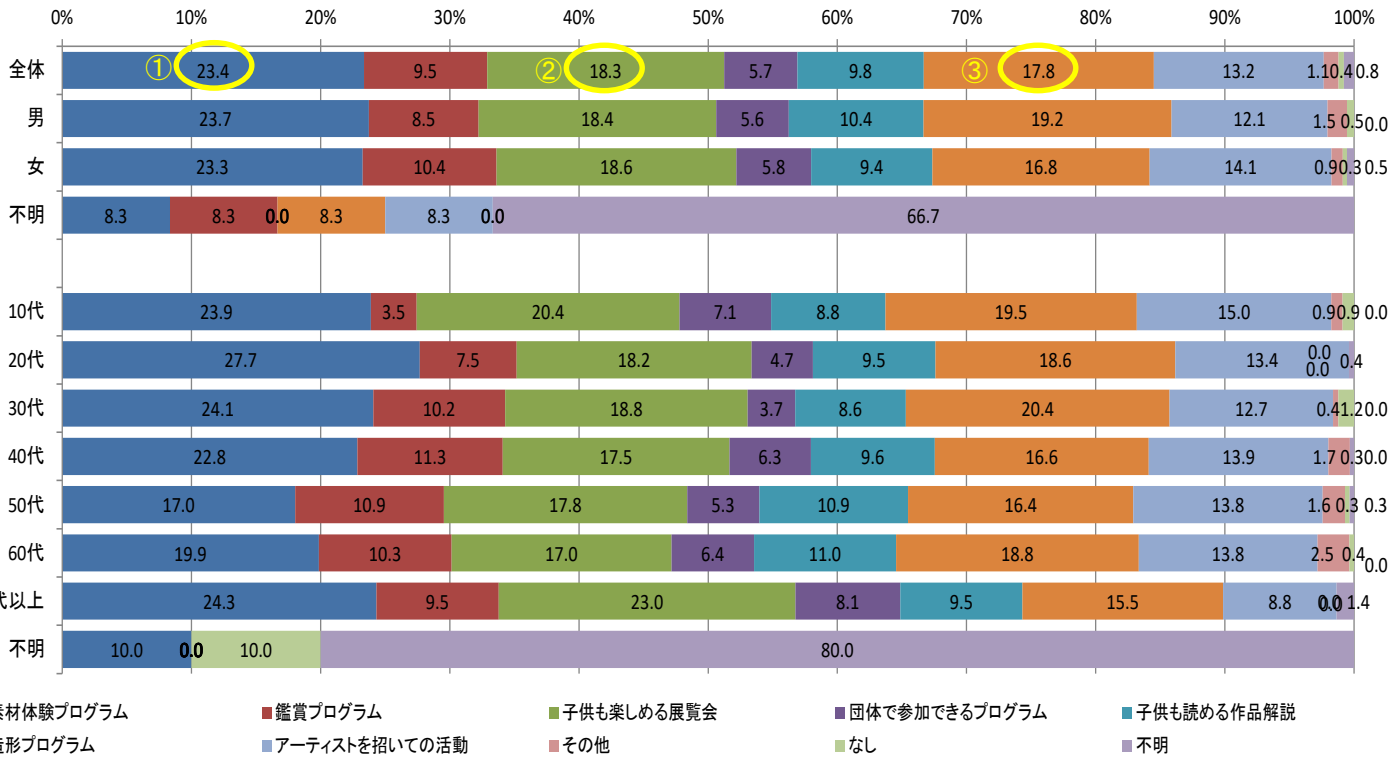
	利用したことがある	利用したことはないが、興味はある	知っているが、興味はない	知らなかった	不明
全体	11.1	20.4	15.1	52.1	1.3
男	6.0	17.7	14.7	61.5	-
女	15.6	23.2	15.6	45.3	0.3
不明	-	-	9.1	18.2	72.7
10代	6.8	15.3	5.1	72.9	-
20代	4.7	18.9	10.4	66.0	-
30代	8.0	24.0	12.0	56.0	-
40代	11.4	25.4	13.2	50.0	-
50代	17.0	18.8	21.4	42.0	0.9
60代	17.0	22.0	22.0	39.0	-
70代以上	11.9	14.9	20.9	52.2	-
不明	-	10.0	-	10.0	80.0

キッズ・プロジェクト案

◆子供が主体的に活動できるプロジェクト案への期待度が高い傾向

・全体を見てみると、回答割合が高かったプロジェクトは、①「素材体験プログラム」(23.4%)、②「子供も楽しめる展覧会」(18.3%)、③「造形プログラム」(17.8%)となっており、子供が主体的に体を動かしたり、作品を作るなどのプロジェクトへの期待度が高いことが分かった。

n=668

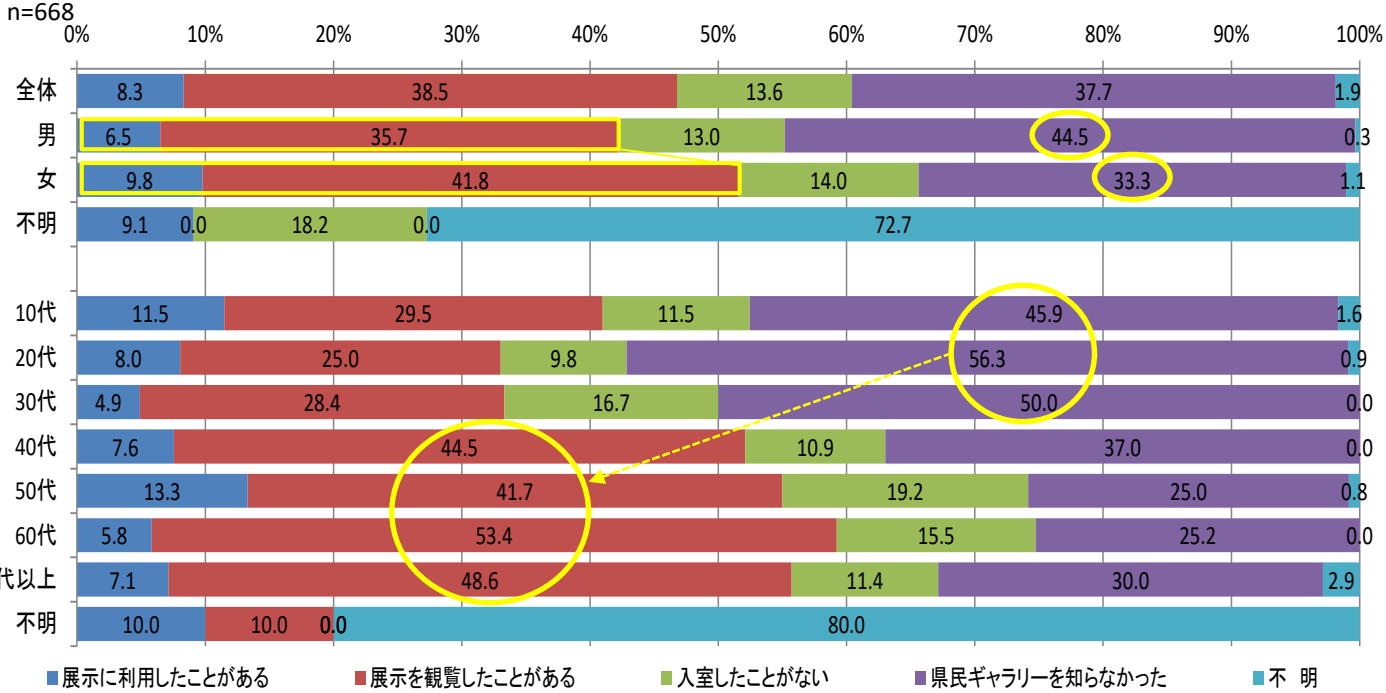


	素材体験プログラム	鑑賞プログラム	子供も楽しめる展覧会	団体で参加できるプログラム	子供も読める作品解説	造形プログラム	アーティストを招いての活動	その他	なし	不明
全体	23.4	9.5	18.3	5.7	9.8	17.8	13.2	1.1	0.4	0.8
男	23.7	8.5	18.4	5.6	10.4	19.2	12.1	1.5	0.5	-
女	23.3	10.4	18.6	5.8	9.4	16.8	14.1	0.9	0.3	0.5
不明	8.3	8.3	-	-	-	8.3	8.3	-	-	66.7
10代	23.9	3.5	20.4	7.1	8.8	19.5	15.0	0.9	0.9	-
20代	27.7	7.5	18.2	4.7	9.5	18.6	13.4	-	-	0.4
30代	24.1	10.2	18.8	3.7	8.6	20.4	12.7	0.4	1.2	-
40代	22.8	11.3	17.5	6.3	9.6	16.6	13.9	1.7	-	0.3
50代	22.7	10.9	17.8	5.3	10.9	16.4	13.8	1.6	0.3	0.3
60代	19.9	10.3	17.0	6.4	11.0	18.8	13.8	2.5	0.4	-
70代以上	24.3	9.5	23.0	8.1	9.5	15.5	8.8	-	-	1.4
不明	10.0	-	-	-	-	-	-	-	10.0	80.0

県民ギャラリーの利用経験

◆若い世代の県民ギャラリーの認知度が低い傾向 反対に40代以上は約半数が観覧経験あり

- ・性別で見ると、「展示に利用したことがある」「展示を観覧したことがある」と回答している人は、男性よりも女性の方が多かった。反対に「県民ギャラリーを知らなかった」と回答した人は、男性が44.5%、女性が33.3%となっており、男性の認知度が低いことが分かった。
- ・年代別にみると、10~30代までの約半数が、「県民ギャラリーを知らなかった」と回答しており、年代が高くなるにしたがってその割合は減少し、40代以上になると観覧経験のある人が約半数になっている。



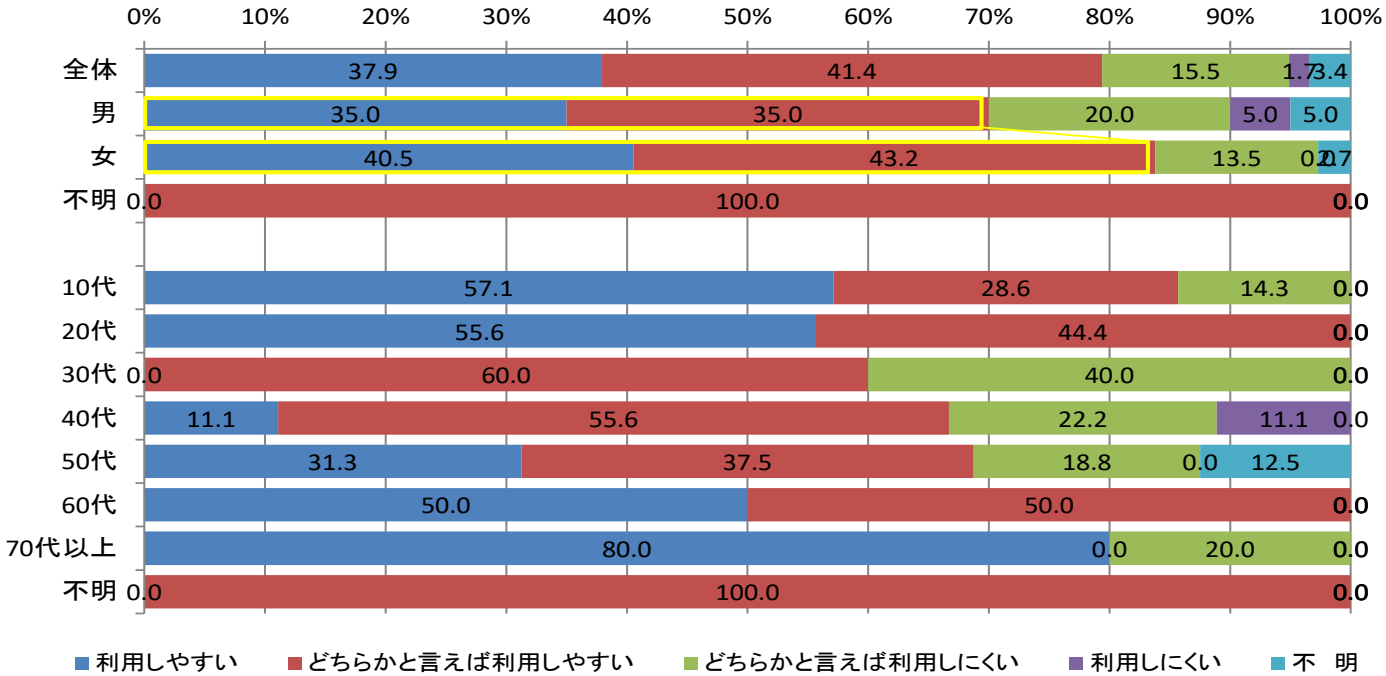
	展示に利用したことがある	展示を観覧したことがある	入室したことがない	県民ギャラリーを知らなかった	不明
全体	8.3	38.5	13.6	37.7	1.9
男	6.5	35.7	13.0	44.5	0.3
女	9.8	41.8	14.0	33.3	1.1
不明	9.1	-	18.2	-	72.7
10代	11.5	29.5	11.5	45.9	1.6
20代	8.0	25.0	9.8	56.3	0.9
30代	4.9	28.4	16.7	50.0	-
40代	7.6	44.5	10.9	37.0	-
50代	13.3	41.7	19.2	25.0	0.8
60代	5.8	53.4	15.5	25.2	-
70代以上	7.1	48.6	11.4	30.0	2.9
不明	10.0	10.0	-	-	80.0

県民ギャラリーの利用しやすさ／県民ギャラリーの魅力について

◆実際に利用したことがある人の約7割が「利用しやすい」と感じている (※「利用しやすい」+「どちらかと言えば利用しやすい」合計)

・性別で見ると、「利用しやすい」「どちらかと言えば利用しやすい」という回答は女性の方が多かった。

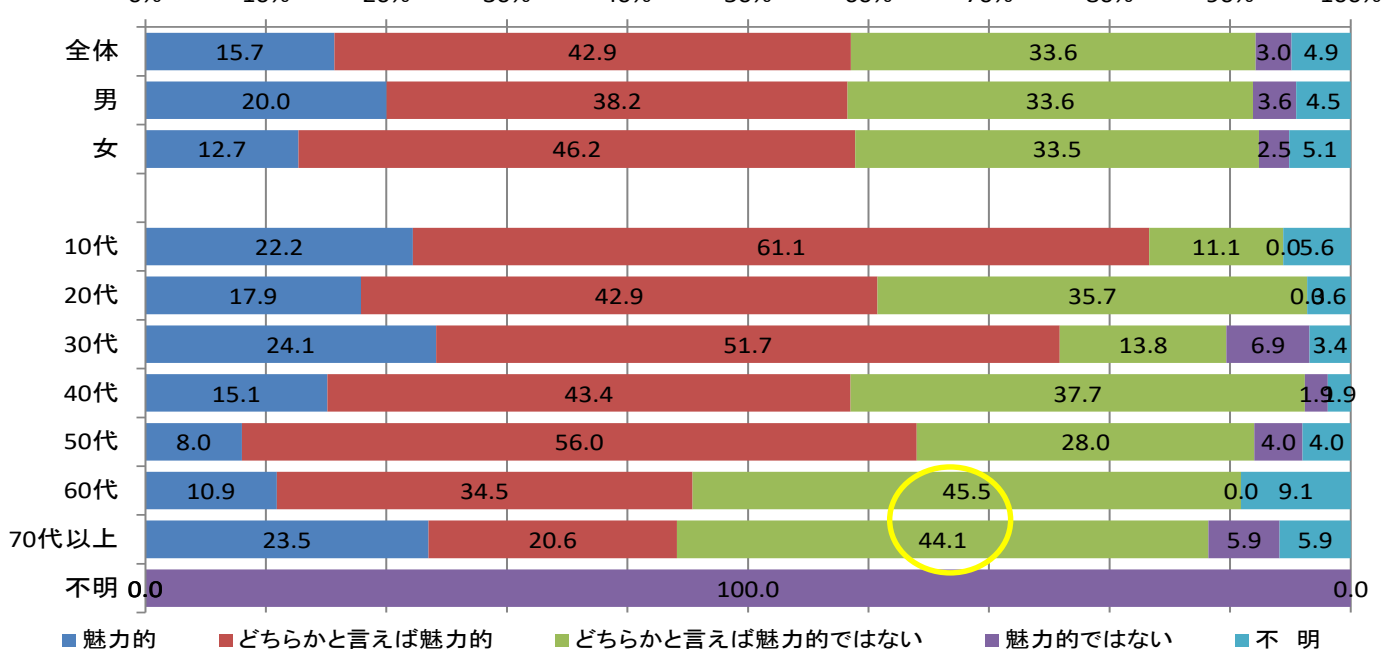
n=58



◆観覧経験のある人約半数が「魅力的」と回答

・性別では大きな差は見られなかった。
・年代別にみると、60代以上の不満が高く、約4割が「どちらかと言えば魅力的ではない」と回答している。

n=268



県民ギャラリーの利用のしやすさ/魅力度(自由回答)

県民ギャラリーの利用のしやすさ【良い点】

【設備】

- ・壁を自由自在に動かして展示できる
- ・展示の為の設備が整っているし、広くて良い
- ・壁の移動が出来るし、照明もしっかりして設備が整っている
- ・壁の移動で広さや狭さが調節できるのが良い
- ・スライド式の壁がある
- ・搬入、搬出がメディアテークよりずっと良い
- ・搬入しやすい

【利用方法】

- ・申し込みばすぐできる。展示がしやすい
- ・厳しいルールがなくて使いやすい
- ・好きなように利用できた
- ・勝手がわかる

【施設】

- ・庭に面していて、みんなが安心して使えた
- ・入口が近くて地下に行きやすい
- ・広いスペースで展示できた
- ・スペースがゆったりしたところ
- ・ちょうど良いスペース。立地条件が良い
- ・空間を自由に使える
- ・展示室が広くて良い

【料金】

- ・低料金で利用可能
- ・料金が安い

県民ギャラリーの利用のしやすさ【不満点】

【設備】

- ・室内がカビ臭く、暗い感じがする
- ・地下で、照明展示台等使い勝手が悪い/壁面の移動が大変だった
- ・壁が安定しない。貸出の脚立がない。展示台が古い
- ・地下室にあり、美術館の入口付近の室内や表示が不十分
- ・場所がわかりづらい
- ・脚の不自由な方の来館がかなり多いのに地下にあり不便。とにかく狭い。天井が高すぎる
- ・場所が閉鎖的

【利用方法】

- ・手続き、入館がめんどうかい

県民ギャラリーの魅力【良い点】

【利用方法】

- ・地元の方が利用しやすい
- ・県民ギャラリーが無料で利用、入館できるので
- ・身近で無料。学生に開放しているのが良い
- ・無料でこのような展示が出来るのが子供達に希望を与える
- ・安心して見れる。無料も魅力
- ・誰でも利用できる/県民主体というところが良い

【展示】

- ・明るくて見やすかった
- ・自由に何回も観れるのが良かった。順路がないところ
- ・順路迷わず見ることが出来る

【空間】

- ・ゆったりしたスペースがある
- ・無料で展示室も広く良かった
- ・広々とした展示室でゆったり見れる
- ・気楽に入れるし、天井が高くて広いのが良い

県民ギャラリーの魅力【不満点】

【印象】

- ・開放感がない展示室
- ・地下なので閉鎖的だなと感じた
- ・目立たない場所。地味な感じ
- ・冷たい感じがする
- ・淡泊すぎる
- ・暗くて寒々としている
- ・暗い。そこに行くまでのルートがつまらない

【展示】

- ・展示品がかなり上まであったので見づらかった
- ・思っていたより展示がごちゃごちゃしていた

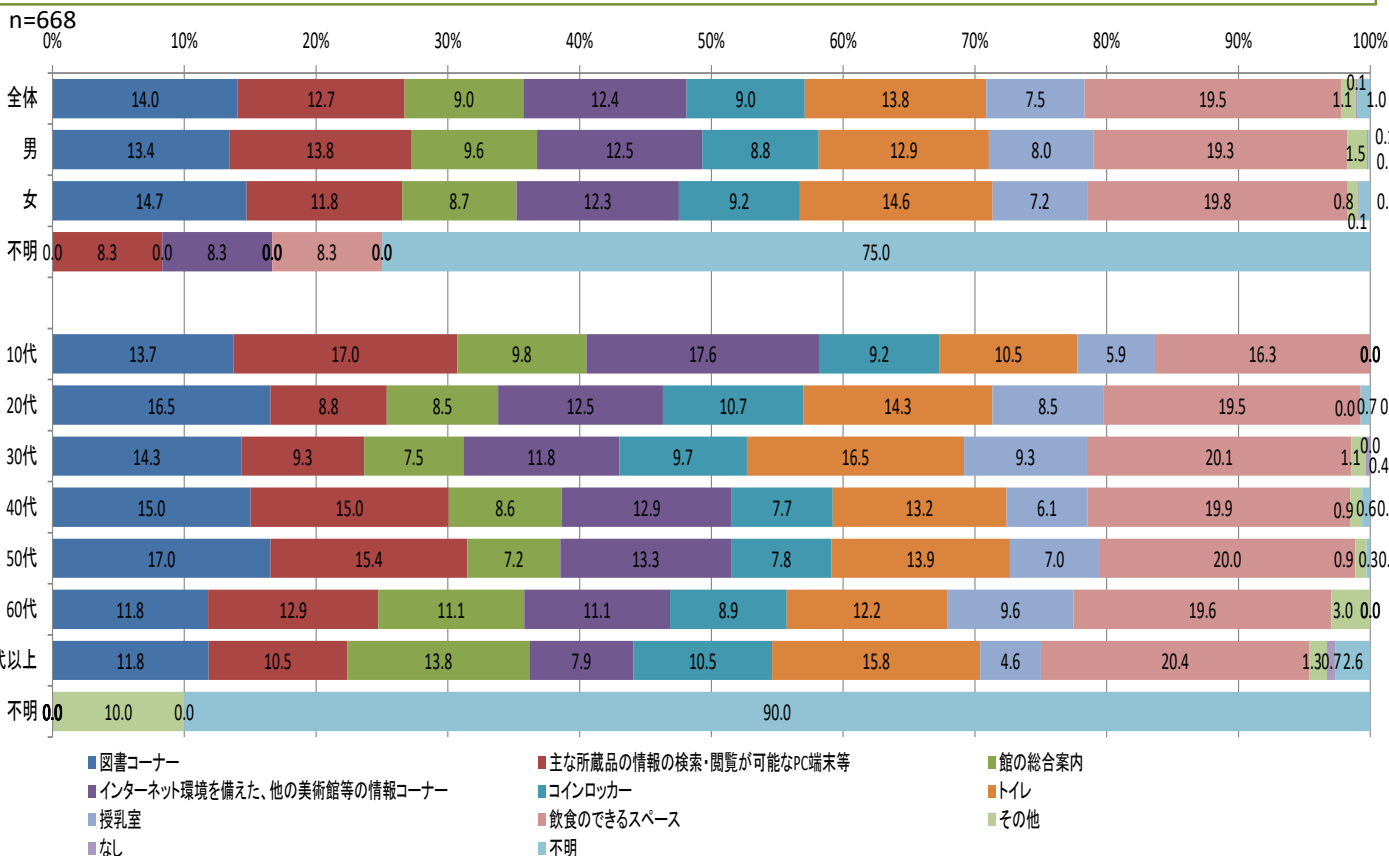
【空間】

- ・場所の案内がわかりにくい
- ・入口がわかりにくい
- ・もっと広くしたほうが良い。自然光が入ると良い
- ・地下にあるのであまり目に留まらない
- ・地下で行きづらい、入りづらい

ラウンジの施設、設備についての要望

◆ラウンジに最も求めることは、「飲食」と「情報検索」

- ・年代、性別に関わらずラウンジに望む施設、設備として高かったものが「飲食のできるスペース」、「図書コーナー」であった。美術品を鑑賞する時間以外にも「飲食をしたい」、「本を読みたい」等、ゆとりを持った時間の使い方をしたいと考えていることが窺える。
- ・また、「インターネット環境を備えた他の美術館などの情報コーナー」や「主な所蔵品の情報検索」等の回答から、自由に調べたり閲覧できる環境を望んでいることが分かる。



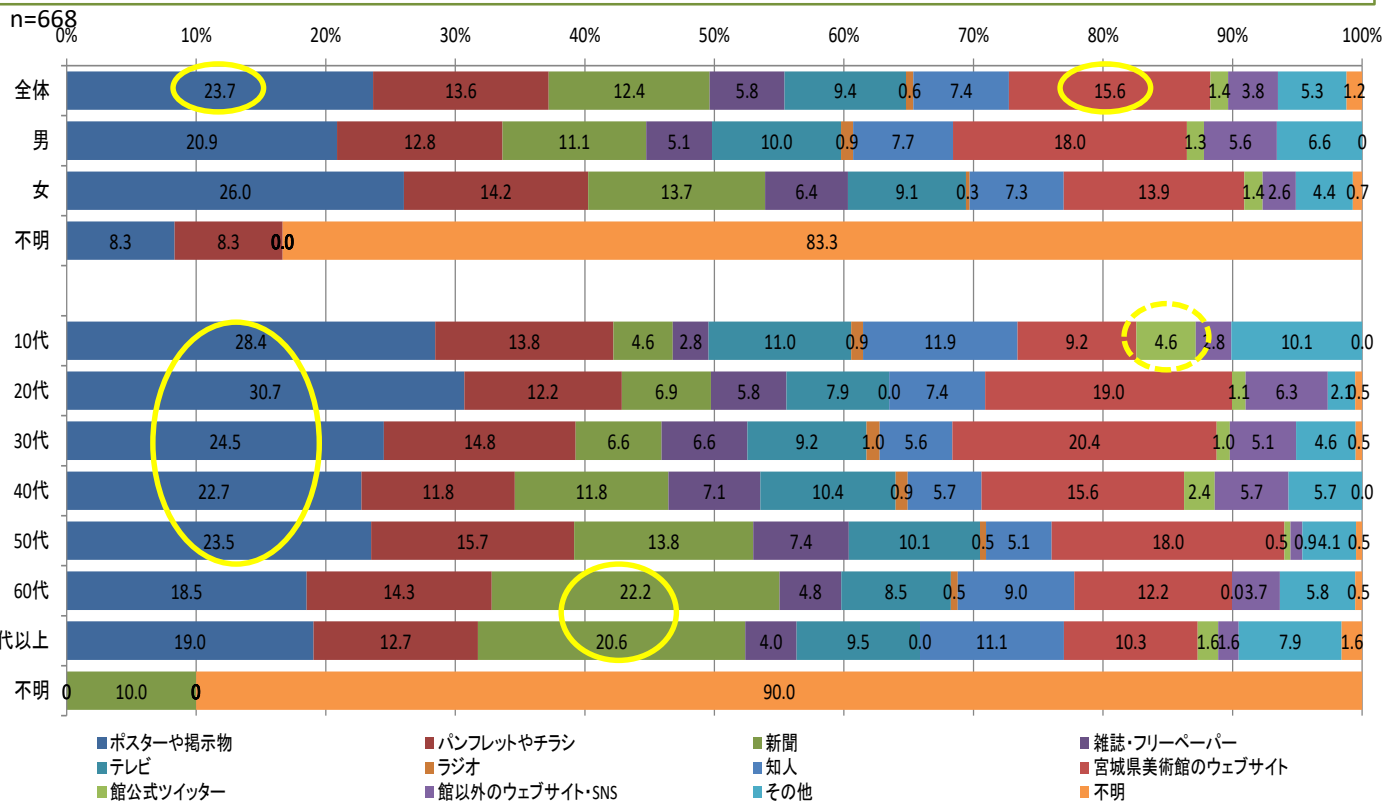
	図書コーナー	主な所蔵品の情報検索・閲覧が可能なPC端末等	館の総合案内	インターネット環境を備えた、他の美術館などの情報コーナー	コインロッカー	トイレ	授乳室	ス飲食のできるスペース	その他	なし	不明
全体	14.0	12.7	9.0	12.4	9.0	13.8	7.5	19.5	1.1	0.1	1.0
男	13.4	13.8	9.6	12.5	8.8	12.9	8.0	19.3	1.5	0.1	0.1
女	14.7	11.8	8.7	12.3	9.2	14.6	7.2	19.8	0.8	0.1	0.8
不明	-	8.3	-	8.3	-	-	-	8.3	-	-	75.0
10代	13.7	17.0	9.8	17.6	9.2	10.5	5.9	16.3	-	-	-
20代	16.5	8.8	8.5	12.5	10.7	14.3	8.5	19.5	-	-	0.7
30代	14.3	9.3	7.5	11.8	9.7	16.5	9.3	20.1	1.1	0.4	-
40代	15.0	15.0	8.6	12.9	7.7	13.2	6.1	19.9	0.9	-	0.6
50代	14.2	15.4	7.2	13.3	7.8	13.9	7.0	20.0	0.9	-	0.3
60代	11.8	12.9	11.1	11.1	8.9	12.2	9.6	19.6	3.0	-	-
70代以上	11.8	10.5	13.8	7.9	10.5	15.8	4.6	20.4	1.3	0.7	2.6
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	90.0

宮城県美術館の情報認知媒体

◆情報認知の媒体として最も多いのは、「ポスターや掲示物」23.7%、次いで「宮城県美術館のウェブサイト」15.6%となっている

・10～40代では、「ポスターや掲示物」の回答割合が多いが、60代、70代以上になると「新聞」という回答割合が高くなる傾向にあり、年代によって情報を得る媒体が異なることが分かる。

・「宮城県美術館公式ツイッター」の回答割合は、全体としては1.4%と低い結果であるものの、10代が4.6%となっており、各年代と比べると比較的活用されている媒体と言える。



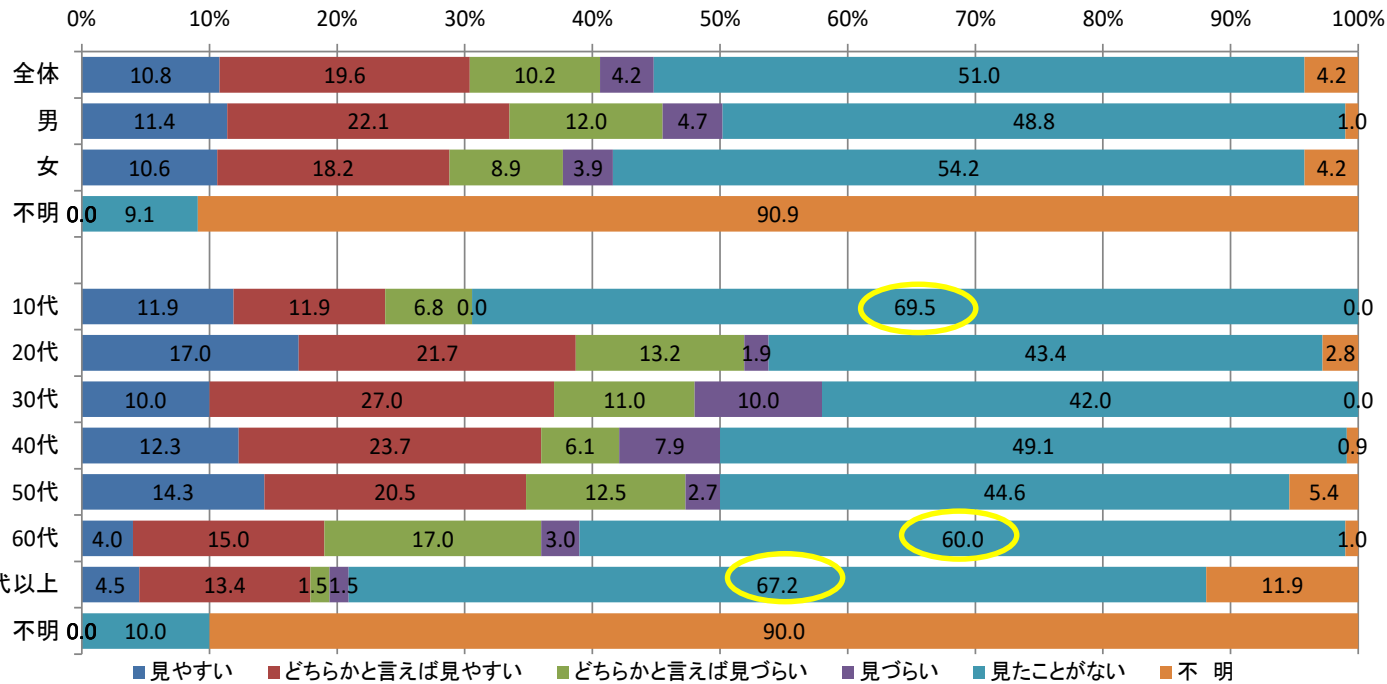
	ポスターや掲示物	パンフレットやチラシ	新聞	雑誌・フリーペーパー	テレビ	ラジオ	知人	宮城県美術館のウェブサイト	館公式ツイッター	館以外のウェブサイト・SNS	その他	不明
全体	23.7	13.6	12.4	5.8	9.4	0.6	7.4	15.6	1.4	3.8	5.3	1.2
男	20.9	12.8	11.1	5.1	10.0	0.9	7.7	18.0	1.3	5.6	6.6	-
女	26.0	14.2	13.7	6.4	9.1	0.3	7.3	13.9	1.4	2.6	4.4	0.7
不明	8.3	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83.3
10代	28.4	13.8	4.6	2.8	11.0	0.9	11.9	9.2	4.6	2.8	10.1	-
20代	30.7	12.2	6.9	5.8	7.9	-	7.4	19.0	1.1	6.3	2.1	0.5
30代	24.5	14.8	6.6	6.6	9.2	1.0	5.6	20.4	1.0	5.1	4.6	0.5
40代	22.7	11.8	11.8	7.1	10.4	0.9	5.7	15.6	2.4	5.7	5.7	-
50代	23.5	15.7	13.8	7.4	10.1	0.5	5.1	18.0	0.5	0.9	4.1	0.5
60代	18.5	14.3	22.2	4.8	8.5	0.5	9.0	12.2	-	3.7	5.8	0.5
70代以上	19.0	12.7	20.6	4.0	9.5	-	11.1	10.3	1.6	1.6	7.9	1.6
不明	-	-	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	90.0

宮城県美術館のWEBサイトの見やすさ

◆「見やすい」「どちらかと言えば見やすい」とポジティブな回答割合は、全体で約3割、そもそも見たことがない人が約5割を占める

- ・性別で見ると、「見たことがない」という回答が、男性が48.8%、女性が54.2%となっており、女性の方がWEBサイトを見たことがない人が多い結果となっている。
- ・年代別で見ると、「見たことがない」という回答は、10代が最も高く69.5%となっており、次いで、70代以上の67.2%、60代の60.0%となっている。

n=668



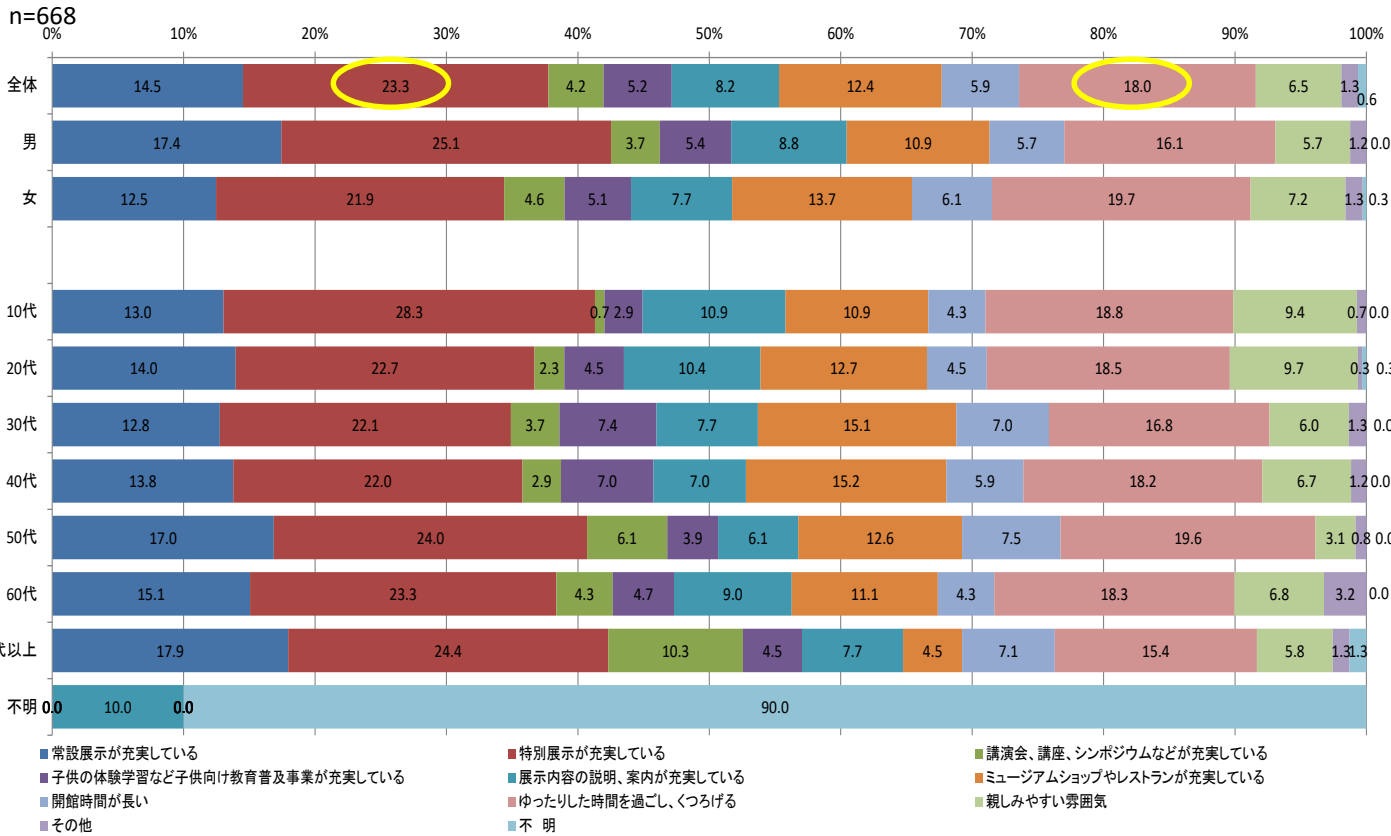
	見やすい	どちらかと言えば見やすい	どちらかと言えば見づらい	見づらい	見たことがない	不明
全体	10.8	19.6	10.2	4.2	51.0	4.2
男	11.4	22.1	12.0	4.7	48.8	1.0
女	10.6	18.2	8.9	3.9	54.2	4.2
不明	-	-	-	-	9.1	90.9
10代	11.9	11.9	6.8	-	69.5	-
20代	17.0	21.7	13.2	1.9	43.4	2.8
30代	10.0	27.0	11.0	10.0	42.0	-
40代	12.3	23.7	6.1	7.9	49.1	0.9
50代	14.3	20.5	12.5	2.7	44.6	5.4
60代	4.0	15.0	17.0	3.0	60.0	1.0
70代以上	4.5	13.4	1.5	1.5	67.2	11.9
不明	-	-	-	-	10.0	90.0

再来館意向の高い美術館のイメージについて

◆再来館意向の高い美術館イメージとして最も高いものは、「特別展示の充実」23.3%、次いで「ゆったりした時間を過ごし、寛げる」18.0%

・「特別展示が充実している」が、再来館意向の高い美術館イメージの中でも最も高い割合となっており、P.9の宮城県美術館の来館目的として、「特別展示の鑑賞」が高かったことを踏まえると、「特別展示が充実している」ことが、来館、再来館のきっかけになると考えられる。

・次いで「ゆったりした時間を過ごし寛げる」という回答割合が高いことから、展示の充実はもちろんのこと、「居心地の良さ」も同様に求めていることが窺える。



	常設展示が充実している	特別展示が充実している	講演会、講座、シンポジウムなどが充実している	子供の体験学習など子供向け教育普及事業が充実している	展示内容の説明、案内が充実している	ミュージアムショップやレストランが充実している	開館時間が長い	ゆったりした時間を過ごし、くつろげる	親しみやすい雰囲気	その他	不明
全体	14.5	23.3	4.2	5.2	8.2	12.4	5.9	18.0	6.5	1.3	0.6
男	17.4	25.1	3.7	5.4	8.8	10.9	5.7	16.1	5.7	1.2	-
女	12.5	21.9	4.6	5.1	7.7	13.7	6.1	19.7	7.2	1.3	0.3
不明	-	16.7	-	-	8.3	-	-	-	-	-	75.0
10代	13.0	28.3	0.7	2.9	10.9	10.9	4.3	18.8	9.4	0.7	-
20代	14.0	22.7	2.3	4.5	10.4	12.7	4.5	18.5	9.7	0.3	0.3
30代	12.8	22.1	3.7	7.4	7.7	15.1	7.0	16.8	6.0	1.3	-
40代	13.8	22.0	2.9	7.0	7.0	15.2	5.9	18.2	6.7	1.2	-
50代	16.2	24.0	6.1	3.9	6.1	12.6	7.5	19.6	3.1	0.8	-
60代	15.1	23.3	4.3	4.7	9.0	11.1	4.3	18.3	6.8	3.2	-
70代以上	17.9	24.4	10.3	4.5	7.7	4.5	7.1	15.4	5.8	1.3	1.3
不明	-	-	-	-	10.0	-	-	-	-	-	90.0